

ベネズエラ、IMF 凍結資産の回収に成功

teleSUR

2026 年 04 月 20 日



デルシー・ロドリゲスが、国立音楽社会活動センターで IMF 復帰を発表

デルシー・ロドリゲス暫定大統領は、国際通貨基金（IMF）で凍結されていたベネズエラの権利と資産の正当な回復を発表した。これは外交上の画期的な成果であり、新たな債務を負うことなく、電力、水道、病院、社会福祉プログラムへの即時投資に資金を提供するものである。

本文

デルシー・ロドリゲス暫定大統領は 4 月 24 日、国際通貨基金（IMF）におけるベネズエラの権利と凍結資産の正当な回復を発表し、これを新たな債務を負

うことなく、必要不可欠な公共サービスへの即時投資を可能にする重要な外交的勝利であると述べた。

デルシー・ロドリゲス氏は、国立音楽社会活動センターでこの発言をした。彼女は、今回の措置は新たな借入プログラムではなく、ベネズエラの正当な権利の回復を意味すると強調した。

デルシー・ロドリゲス氏は、「これは債務返済プログラムではなく、IMF に凍結されている我々の権利と資産を取り戻すためのものです」と明言した。

回収された資金は、国の電力システム、水道供給、病院、そして国立青少年オーケストラ・合唱団システムへの緊急投資に充てられる。

今回の発表は、IMF が 2026 年 4 月 16 日に、デルシー・ロドリゲス暫定大統領政権下のベネズエラとの取引を再開することを決定したことを受けたもので、政府の承認問題により 2019 年から中断されていた取引が回復しました。

この展開は、ベネズエラが 7 年ぶりに IMF との関係を再開したことを意味し、約 50 億ドルと推定される特別引出権 (SDR) へのアクセス、技術支援、そしてより広範な多国間協力への道筋を開く可能性を開くものである。

デルシー・ロドリゲス氏の下での IMF 資産回収の背景と意義

デルシー・ロドリゲスは述べた。

「これら権利と資産の回復は、ベネズエラの外貨準備高を強化し、マクロ経済指標の安定化に役立つ。また、IMF への再加盟は、政府が関連する経済情報を共有し、国家経済を強化し、持続可能な開発のための長期戦略を策定することを可能にした」

デルシー・ロドリゲスは、「これらの資金は米国による長年の一方的な制裁によって被害を受けた重要インフラを優先的に復旧するために使われる」と強調

した。これには、全国的な電力不足による頻繁な停電や、水道供給および医療サービスなどが含まれる。

デルシー・ロドリゲス氏は、この措置を「ベネズエラ外交の偉大な成果」と評し、基礎的なサービスや社会プログラムの即時的な改善を支援するものだと言った。当局者らは、今後のいかなる協力もベネズエラの主権を尊重し、外部からの条件ではなく、国内の優先事項に焦点を当てるものであると強調した。

この措置は、ベネズエラと複数の多国間機関との関係を徐々に正常化させてきた外交努力に続くものであり、政策の独立性を維持しながら、長年にわたる経済的課題に対処するための枠組みを提供するものである。

デルシー・ロドリゲスが概説した投資優先事項

デルシー・ロドリゲス氏は、回収された資金は、外部からの圧力と内部の課題によって最も大きな打撃を受けた主要セクターに重点的に投入されると明言した。度重なる停電に見舞われている国の電力システムは、全国への安定した電力供給を確保するため、復旧の最優先事項となっている。

水道網や病院インフラも、ベネズエラ国民の基礎サービスや医療へのアクセスを改善するために、緊急に整備される予定です。さらに、資金の一部は、著名な国立青少年オーケストラ・合唱団システムをはじめとする文化・教育活動の支援にも充てられます。

- ① これらの投資は、何百万人ものベネズエラ国民に恩恵をもたらす、必要不可欠な公共サービスの復旧と社会保障制度の強化を目的としている。
- ② デルシー・ロドリゲス氏は、今回の発表は、差し迫った人道支援やインフラ整備のニーズに対応しつつ、主権を守るためのより広範な取り組みの一環であると述べた。
- ③ 政府は、これらの資金は 1946 年以來 IMF の正式加盟国であるベネズエラに帰属するものであり、国家開発のために透明性をもって使用されると主張している。

デルシー・ロドリゲスが紹介する文化祭典と社会プログラム

この発表は、ベネズエラの伝統的な4弦楽器であるクアトロ（ウクレレの親戚）の国民の日を祝う活気あふれる文化イベントの中で行われた。デルシー・ロドリゲス氏は、国立青少年・児童オーケストラ・合唱団システムから900人以上の若い音楽家を表彰し、彼らはホロポ、ガイタ、カリプソなどのジャンルの音楽を演奏した。

彼女は、教室を体験型音楽学習の場へと変える教育イニシアチブである「Cambur Pintón Suena en mi Escuela」プロジェクトを高く評価した。このプログラムは現在、全国に16のワークショップと3つのトレーニングスクールを運営しており、年間最大6,000台の楽器を修理し、毎年16台の新しい楽器を製作できる200人の専門家チームによって支えられている。

デルシー・ロドリゲスは、オーケストラ制度のような文化プログラムが、若者の間で国民意識、感受性、そしてベネズエラのルーツへの愛情を育む上でいかに重要であるかを強調した。

このイベントは、経済回復と社会・文化発展を両立させるという政府の取り組みを示すものだった。

こうした取り組みは、経済対策が人々の生活や文化の発展を支えるという、国を再建するための包括的なアプローチを示している。

【翻訳チェック 鈴木頌】